

【井手川地区で優先的に取り組むべき「対策の方向性」の順位と投票数】

投票数	対策の方向性
15	公民館で老若男女が集い楽しむ
11	若い世代が住みたくなるまちづくり
7	災害に強いまちづくり
6	万田坑と万田公園の再整備
6	トロッコ電車の復活
5	人と人のつながりづくり ・ネットワークづくり・仲間づくり
5	高齢者が元気なまち
4	ウォーキングで健康づくり
2	万田坑と宮原坑をつなぐ電車



井手川地区 第三回ワークショップレポート

第三回のワークショップでは、第二回のワークショップで話し合った地区の目指す姿を実現するための取組みについて、市長を交えて、検討を深めました。

前半では、地域の課題や魅力などについて市長に発表した後、市長から、課題解決に向けた最近の市の取組みなどについて説明し、お互いの理解を深めました。

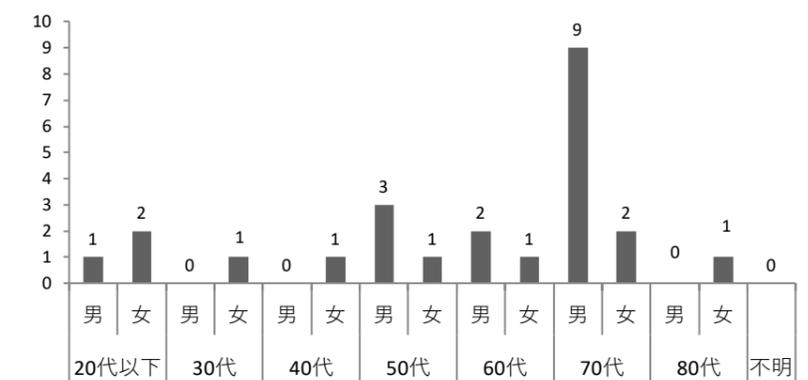
後半では、これまでまとめてきた「対策の方向性」について、先に実施すべきと思うものを参加者で投票（1人3票）し、優先的に取り組むべきことを明らかにしました。

日時：10月27日（日）15時～

場所：万田炭鉱館

参加者数：24名

【井手川地区の参加状況】



■井手川地区で取り組みたい
「対策の方向性」について、
追加する具体的な取組みの例

(地区全体の方針) 「美しく魅力ある」まち (荒尾の“ビバリーヒルズ”を目指して)

「観光」のまち

万田坑と万田公園の再整備

- 季節の良い時期に、万田公園の草取り
- 万田公園フラワーガーデンの種まき
- 万田坑に道の駅をつくる
- ★周辺施設を整備して地元の人を集める
- ★綱引きイベントの復活
- ★万田坑を中心としたイベント
- ★コスプレマニアを呼び込む企画
- ★桜のシーズンにイベントをする
- ★万田坑円の桜の手入れをし、ライトアップ
- ★山の神までの道をきれいに
- ★万田坑イベントを大牟田と相互開催
- ★イベントの周知

豊かな自然を守る

- ★ゴミ拾いをイベント化
- ★貯水池までの侵入を許可する
- ★ビューポイントにいけるようにしたい
- ★地域でチームとなり競って花壇を運営する

トロッコ電車の復活

- ★地域のクラウドファンディングをする
- ★ミニSLを走らせるイベントを学生と企画
- ★トロッコを整備して体験学習の機会を設ける
- ★休日、祝日にトロッコ列車を走らせる
- ★緑ヶ丘小の子どもも万田坑案内に参画する

万田坑と宮原坑をつなぐ電車

- ★万田坑にかかる地域で共同してイベントを行う

皆が集う「楽しい」まち

公民館で老若男女が集い楽しむ

- 公民館を地域の拠点とし、世代間交流を行う
- 地域活動への参加を呼び掛ける
- 高齢者と子どもたちの交流

サロンの定期開催

- いきいきサロン
- 出前講座の活用
- 年1回の温泉旅行

人と人のつながりづくり
・ネットワークづくり
・仲間づくり

- 各団体の交流
- 若い世代の地域組織をつくる
- 地区協議会に参加
- ★公民館が必要

皆がお互いに理解し合う

- 地区活動に対する世代間の意識の違いを話し合う

「誰もが暮らしたい」まち

高齢者や子どもの見守りを充実させる

- 地域の防犯パトロール
- 独居老人の把握と訪問
- 認知症徘徊対応研修への参加
- 子どもたちの通学時の安全見守り
- 地区で防犯カメラの設置

若い世代が
住みたくなるまちづくり

- 荒尾近郊に働く場を増やす
- Uターンを促す
- 団地の子ども会をつくる

生活環境がいいまちづくり

- 年2回の町内美化作業
- 家の近くの草取り、落ち葉拾い
- 神社や公園の毎月の掃除
- リサイクルのための仕分け作業
- 団地までの坂道の木の剪定

買物の不便さの解消

- 地域で高齢者の買い物支援をする
- 乗合タクシーの活用

「元気な」まち

高齢者が元気なまち

- 高齢者のソフトボール大会等を開催
- ★子どもたちと一緒に運動する
- ★高齢者が見に行きたくするような行事をする
- ★ペタンクやグラウンドゴルフで若者と交流

ウォーキングで健康づくり

- 歩道を設ける
- ★ウォーキングロードの拡充

災害に強いまちづくり

- 地区の防災組織の確立
- 防災士等専門人材の知恵を提供
- 避難訓練
- 災害時の心構え
- 助け合い精神をもつ
- ★深瀬ヶ丘への通路の確保

★は追加された意見